

サイエンスカフェの概要について（事後報告）

1. 開催日時：平成 30 年 8 月 24 日（金） 16 時 00 分～18 時 00 分
2. 開催場所：文部科学省情報ひろばラウンジ（東京都千代田区霞が関 3-2-2）
3. 関係団体等：芝浦工業大学、早稲田大学、国立環境研究所、文部科学省
4. 役割
司会：所 千晴（早稲田大学教授、日本学術会議第三部会員）
講師：大倉 典子（芝浦工業大学教授、日本学術会議第三部会員）
5. 概要：
テーマ「わくわく感のはかり方-感性を工学する」
講演内容：
 - わくわく感体験（開始前時間、休み時間）：振動によって手元のコップにビー玉が入ったかのように錯覚する体験を楽しんだ。
 - 講義（16:00-17:00）：感性工学をご専門とされる大倉先生のご研究を紹介いただいた。脳波などの生体信号を測定することで、安心感やわくわく感などの感性を数値的に考察し、その工学的な利用を目指したご研究についてご紹介いただいた。
 - 脳波測定体験（17:15-17:40）：参加者の中から 2 名が体験した。
 - ワークショップ（17:40-18:00）：わくわく感の測定技術の社会的な活用法について 5~6 名から成る 5 班でディスカッションし、各班がその結果を発表した。
6. 参加人数：
講演者等：5 名
その他の参加者：25 名
7. 特記事項：
文科省や国環研、日本科学未来館などに協力いただき、各所にチラシなどで宣伝をしたが、小学生 1 名、高校生 1 名、大学生 2 名と、期待していた若年層の参加獲得が振るわなかった。一方、参加者の意識は大変高く、ワークショップも大変盛り上がった。